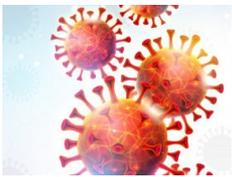




# 看護学教育質向上委員会企画 「COVID-19によってみえてきた臨地実習のエッセンス」 2020年度COVID-19に伴う看護学実習への影響調査 振り返って

JANPU 看護学教育質向上委員会  
東北大学大学院医学系研究科  
吉沢 豊子

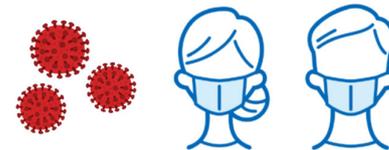


## まとめ



- 新型コロナウイルスの収束で、何もなかったように従来の臨地実習に戻ることはない
- 2020年度の実習科目を運営する中で学び得たものは多かった
  - 代替実習となった学内実習、遠隔授業形式実習は、ある意味で教育効果をもたらした（知識に関連する部分）
  - 様々な代替教育法が試みられ、新しい代替となる教育法が創出された
  - 危機管理としての感染対策の重要性（臨地実習ガイドライン感染対策版の必要性）
- 新しい看護学実習のあり方が見えてきた ・ハイブリッド型実習
- グローバルスタンダードとしての日本の看護学実習を再考するとき





ニューノーマル時代の看護学実習 私たちのキャッチフレーズは

## 看護学実習を止めるな！

2021年の看護学教育質向上委員会は、上記キャンペーンを1年間続けていこうと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

ご清聴 ありがとうございました。